

NILZZ

RACING FACTORY

TAKANOKONO HOTEL OKAYAMA GT 300km RACE

SUPER GT SERIES 2021 ROUND.1 RACE REPORT

カテゴリ	: SUPER GT SERIES 2020 GT300 クラス	公式練習	: 1'27.363 (GT300 クラス 20 位)
エントラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 1'26.462 (GT300 クラス A 組 7 位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2	: 1'27.840 (GT300 クラス 16 位)
マシン名称	: 植毛ケーズフロンティア GT-R	決勝	: GT300 クラス 12 位 (76 周)
ドライバー	: 田中優暉・富田竜一郎		
開催地	: 岡山国際サーキット (岡山県)		
開催日	: 2021.4.10~2021.4.11		
天候	: 晴れ (4.10) 晴れ (4.11)		
イベント動員数	: 発表無し (有観客)		





2021年SUPER GTシリーズが4月10日から11日にかけて岡山県の岡山国際サーキットで開幕され、NILZZ Racingは今大会に田中優暉、富田竜一郎のコンビで参戦した。

昨年のコロナウィルス蔓延の影響により昨年のレースが中止となったため、2年ぶりに岡山国際サーキットにSUPER GTが帰ってきた。

今回のレースは感染症対策を行った上で、制限が設けられたが有観客イベントとして開催された。

4月10日(土) 公式練習

雲ひとつない爽やかな好天に恵まれた岡山国際サーキット。9時45分から公式練習が行われた。

このセッションでは両ドライバーが精力的に走行を重ね、セッティング作業を進めていく。

頻りにピットイン～ピットアウトを繰り返し、NILZZ Racingはこのセッションで計42周を計測。

セッション中盤にマークした1分27秒363がベストタイムとなり、2021年シーズン最初のセッションはGT300クラス20位という結果となった。

4月10日(土) 公式予選

午前中の好コンディションを保ったまま迎えた公式予選。

今回のGT300クラス予選Q1は2グループに分けて行われ、NILZZ RacingはA組での出走となった。

全15台が出走するQ1A組。NILZZ RacingのQ1アタッカーは富田が担当した。

10分間という短いセッションの中で富田は計測5周目に1分26秒462をマークし7位でQ2進出を果たした。





Q2セッションは田中が担当。ウォームアップを終えて周回を重ねるごとに各セクター、ラップタイムの自己ベストを更新し、計測4周目にこのセッションでベストとなる1分27秒840をマーク。

残り時間がわずかとなり最後のアタックを試みるも、タイミングが合わずセクター1でタイムを落としてしまったため、チームはタイヤの温存も考慮しアタック終了の指示を出す。

結果、NILZZ Racingの開幕戦はGT300クラス16位からのスタートが決定した。

4月11日(日) 決勝

予選日と同様に好天に恵まれた決勝日。

13時35分、2周のフォーメーションラップを経て、2021年最初の決勝レースがスタートした。

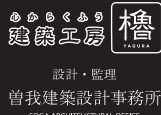
スタートドライバーを務めた田中は序盤の混戦をうまく切り抜け上位を狙う。1回目のセーフティーカー(SC)導入が解除された直後、スタート違反があったとしてドライブスルーペナルティを通告される。

すぐさまペナルティを消化。これにより最後尾近くまで大きく順位を落としてしまった。

レースが動き出したのは31周目。1コーナーでのクラッシュ車両を回収するため、2回目のSCが導入。

このSCが導入される頃が他チームのピットインタイミングと重なったことで、アクシデントが報じられた直後から多くのマシンはピットになだれ込んだため、ピットロード上は大混雑となった。

NILZZ RacingはこのSC直前のピットインは行わず走行を続行。SCの隊列が整うまでの間に7位まで順位を浮上させた。SCの隊列が整い、ピット入口が解放された直後にピットイン。まだSCラン中ということでドライバー交代はできないが、給油は可能というレギュレーションをうまく活用し、給油作業を行った。そしてSCが解除され、レースが再開された直後の37周で再びピットインを行い富田へとバトンをつなぐ。





序盤のペナルティを挽回した NILZZ Racing は 17 位で復帰。
 ドライバー交代後、更なる追い上げを狙いスパートをかける富田。
 前に行くライバル勢との緊迫したバトルを続けていく中、最後は 12 位まで順位をあげてチェッカーフラッグを受けた。

まずはコロナ禍の続く中、開催に向けてご尽力いただきました関係各位に御礼申し上げます。
 今季はライバル勢が昨年以上に強力な布陣を引いてきた中で、開幕戦も激戦が予想されましたが、その中で予選 Q2 進出
 や決勝ラップタイム 2 番手 (1 分 28 秒 069) など、NILZZ Racing も昨年以上に強力となっていることをお見せできたか
 と思います。

この勢いを持続させ、昨シーズン以上の結果を残すべく、チーム一丸となって邁進してまいります。
 今季も皆様のご支援、ご声援を賜りますよう宜しくお願いいたします。

